



SERVICE CLUB TO THE YMCA
名古屋 プラザ (月報)
THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGOYA PLAZA



西日本区中部ホームページ・<http://www.ys-chubu.jp/>

2011年12月号

「主題」

国際会長 : 「とにかくやろうー成せばなる」
アジア地域会長 : 「とにかくやろうー成せばなる」
西日本区理事 : 「ウィズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
中部部長 : 「まず一歩 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」
プラザクラブ会長 : 「ウィズなウィズになろう」

【EMC-M=親睦のエネルギーを放出し、限らない奉仕をしよう。

西日本区2000人に向かって大きく前進!!】

12月例会および今後の予定案内

【12月第1例会(名古屋・南山クリスマス合同例会)】

日時: 12月10日(土)・18:00-

場所: アイリス愛知

名古屋市中区丸の内2-5-10 TEL. 052-223-3751

会費: 7000円/人(通常会費)

◆各自1000円程度のプレゼント持参のこと。

【12月第2例会】

日時: 12月22日(木)・18:45-

場所: 名古屋YMCA会議室

内容: 次月例会打ち合わせ

出席義務者: 役員(島崎・櫛田・後藤)

1月担当者(万福寺・大島)

2月担当者(大島・小澤)

【今後の予定】

1. 老人ホーム音楽慰問

日時: 12月18日(日)・14:00-15:00

場所: アミーユ高辻

名古屋市瑞穂区雁道町1-17-1 TEL. 052-889-4507

◆集合場所: 小澤さん宅・時間: 11:30

2. クリスマス キャロル IN セントラルタワーズ2011

日時: 12月23日(祝・金)・18:00-

場所: JR名古屋駅タワーズガーデン

3. 蔦温泉に家族一泊旅行

日時: 1月21日(土)-22日(日)

場所: マルハン爺ヶ岳ロッジ ◆現地集合

会費: 8000円/人(1泊2食付)

内容: ①温泉を楽しむ・蔦温泉高瀬館(入浴料700円)

②スキーを楽しむ・爺ヶ岳スキー場

③釣りを楽しむ・釣り堀でイトウとニジマス

11月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役 員	会 員 氏 名	出 席 者				
		1	2	①②③④⑤		
会長	大島 孝三郎	○		○○○○○		
	小澤 幸男	○		○		
書記	櫛田 守隆	○	○	○		
会計	後藤 猛	○	○	○		
直前会長	島崎 正剛	○			○	
	鈴木 誉三	○	○	○	○	
副会長	高田 廣	○	○	○		
	常盤 眞理子		○		○	
連絡主事	万福寺 昭美	○	○	○		
ゲスト						
課外活動	①三重県民の森ウォーク 11/3					
	②チャリティラン 11/5					
	③名古屋クラブ講演会 11/9					
	④EMC シンポジウム 11/12					
出席率・%					100.0	
1. ニコボックス						
2. オークション						
当月合計／累計・円					5500	
1 月号ブリテンの寄稿者は島崎さんです。 400 字詰原稿用紙 4-5 枚を目安にお願いします。 E メール moritaka_kushida@ybb.ne.jp						
2. 高田/3. 大島/4. 後藤/5. 常盤/6. 万福寺/7. 小澤/8. 鈴木						

EMC(Extension Membership & Conservation)=新クラブ設立、会員増強と意識高揚

11月第1例会報告

プラザ・グランパス合同例会

日時：11月8日(火)・19:00-21:00

場所：ケンボー

1. 配布書面による連絡事項・大島

(1) EMC シンポジウム案内(略)

(2) 広報主査への報告事項

9-10 月に配布したクラブリーフレットの部数を 11 月 15 日までに報告する。

(3) 12 月合同クリスマス例会(詳細 1 面)

(4) クリスマスキャロル案内(詳細 1 面)

2. 老人ホーム音楽訪問・小澤(詳細 1 面)

3. 爺ヶ岳(じいがたけ)ファミリースキー(詳細 1 面)

グランパスクラブの年中行事、スキーと釣りと温泉家族旅行のお誘いがありました。

4. 懇親会

大島会長のあいさつに続き、双方の参加者 15 人による乾杯で懇親会が始まった。お互いの友好を深めるようにと、くじで席を決めたため最初はぎごちない会話だったが、すぐ打ち解けてイトウの話で盛り上がる。イトウとは北海道の一部の河川、湖沼に生息するサケ科の淡水魚で体長 1m から 1.5m に達する。酔っ払い同士の話で曖昧な記憶をたどってみるとこんな内容だった。グランパスクラブの有志家族は、毎年 1 月ごろ長野県大町に 1 泊旅行をしてスキーや温泉を楽しんでいる。宿はメンバーが知り合いのマルハンが経営するロッジ、お値打ちに泊まれるそうだ。近くにイトウやニジマスが釣れる釣り堀があり、ルアーで掛けるイトウとのやり取りはまた格別である。お孫さんを連れて、来年はいいかがですか、と誘われた。スキーは肩の骨を折ってかみさんに止められたし、雪道の運転に自信はないし、ルアーとなれば道具もない。船竿とベイトリールでいけると、飲みすぎてクダを巻いたようだが、そうはいくまい。色々思案しているうちに懇親会は終わっていた。後日確認のため、荒川さんの下記 3 項目のメールをいたしました。

1. わがクラブ内で希望者があれば、参加してもよろしいですか。→ご参加大歓迎です。現地集合・現地解散で行いますので、お気軽にご参加ください。

2. 参加者がいる場合、ご連絡はいつまでにすればよろしいですか。→正式な募集は 12 月になります。ご案内いたします。

3. 日時は 1/21-22 ですが、参加費用(1 人当たりと宿泊場所をご連絡ください。→宿泊先は下記をご覧ください。費用は 1 泊 2 食 8000 円程度です。交通費温泉入浴費は別途です。(詳しくは次のサイトにアクセス願います)

<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad/2113/>

プログラム模様は過去の(グランパスの)ブリテンを

参考にしてください。



(森の空気を吸いながら、こころもからだもリフレッシュ)



(幼児の部スタート、チャリランはここから始まる)



(合同例会、よくたべ、よくのみ、よく喋りました)

11月第2例会報告

日時：11月24日(木)・18:45-19:30

場所：名古屋 YMCA 会議室

1. 12 月名古屋・南山合同例会確認・後藤

不参加・小澤、万福寺

2. 老人ホーム音楽慰問確認・櫛田

不参加・櫛田

3. スキー旅行の案内・櫛田

11 月第 1 例会の議事録に書いた通りグランパスの恒例行事「スキー家族旅行」に誘われました。ご希望の方は 12 月の第 1 例会までに櫛田まで申し出願います。

4. 街頭募金開催・鈴木

日時 12 月 11 日(日)以外詳細未定、決定次第全員に大島会長から連絡する。

5. クリスマスキャロル確認・鈴木

不参加・後藤

6. 原稿依頼・櫛田

EMC 原稿 200 字程度、島崎さんに TEL でお願いする。

三重県民の森チャリティウオークに参加して

11 月 3 日、絶好の秋日和のもと、三重 YMCA・四日市・津クラブ共催による、菰野町の森の中でのウォーキングを体験してきました。子ども 5 名を含め 19 名の参加者でした。塚本三重 YMCA 理事長の挨拶と津クラブの芝山ワイズによる準備ストレッチとノルディックウォーキングの指導のあと、自然の中で 2 時間近くコースを巡りました。ストックを適切に使えば足腰に過重な負担を与えず上半身、体幹も鍛えられ、カロリーを 30% も多く消費できてフィットネスに効果のあるスポーツであるとの説明でした。

心地よい疲れを覚え弁当も格別においしく、参加者との会話も弾みました。

(大島 孝三郎)

チャリティーラン 2011

第 18 回名古屋 YMCA チャリティーランは 7 月 5 日、名城公園噴水横広場を発着点とするコースであり、351 人のランナーと 600 人ほどの観衆が集まった。

名古屋国際女子マラソンの事前の練習場に指定されている 1 周 1300m に広場の回周距離を足した 1500m を走り出発点に戻るコース。個人レースは幼児の部 18 人が 11 時半にスタート、低学年、高学年、一般と続き 12 時に 51 チームの第 1 走者が出発した。

わがクラブは 9 時半に集合、距離標識をコースに設置し公園の出入り口階段とコーナー部分の枯れ葉、砂を清掃、同じ場所でランナーの誘導、応援を行う。ホッケーのレガースを装着したり、鍋の扮装をしたりするランナーが、息を弾ませて走る姿を見ている方のこちらが苦しくなりそうでした。

小雨がポチポチ降り出した午後 1 時半ごろ表彰式、ラッフルの抽選会が始まり悲喜交々(こもごも)の情景が広場を包む。最後に、拡声器から流れる進行係の言葉遣いが気になったので一言。「・・・したいと思います」は癖でしょうか。「ラッフルの抽選会を行いたいと思います」は、「ラッフルの抽選会を行います」では駄目ですか。年寄りのたわ言と気にしないでください。ま、こんなことでチャリランの報告を締めようと思います。

2011～2012 中部 EMC シンポジウム報告

2011 年 11 月 12 日(土) 午後 1 時半から 4 時半でシンポジウムを愛知県青年会館で開催。参加メンバーは総勢 32 名。八木中部書記の軽妙かつ飄々とした司会進行でタイトな時間がなごやかに進行。長谷川中部部長の挨拶・若松中部 EMC 主査の主題発題。各クラブの

現状の発表。割り当てられた時間内での発表とはいかず、タイムオーバー。5 グループに分かれてクラブの状況を情報交換。四日市の勢いが素晴らしく 8 名の新入メンバーの意見は新鮮。うちのクラブも大いに発奮しなくてはと強く思う。閉会后、場所をかえて懇親会場に移動。私は仕事の都合で帰途につきました。

(島崎 正剛)

8 月に被災地を訪れて

私の会社は繊維製品の販売をしていますが、昔から東北地方の小売店さんとの取引が多く 3 月 11 日の大震災では多くの取引先が被災されました。震災後 3 日間ぐらいの間は何とか連絡をと携帯電話等に何度もかけましたが繋がらず、テレビで何度も惨状を見少し状況が落ち着いてから再度連絡すると決め、取引先の方々の生死や被害状況が全く分からず心配していました。

やっと 3 月下旬になって連絡が取れはじめ、家族の方を含め全員無事との確認が出来ひとまず安心しましたが、やはり津波で家や店舗も流され親戚の家に避難している方、避難はしていないが地震で住居や店舗・商品に大きな被害を被った方がほとんどで、住まいを片付けるのが手一杯、店がいつ再開できるか見当がつかないという連絡ばかりでした。それが 4 月に入ると急に被災した何軒かの小売店から商品を送ってほしいとの注文が入り始め、理由をと聞くと、周辺の住民の方が必要な物があるから店を開けてほしいとの要望で、店の軒先だけを使って明るい間だけでも商売をするとの事、当然運送便は支援物資優先の中で日数はかかりましたがなんとか荷物を届けること出来ました。

5 月になると自宅や本店が流されしまい連絡が取れなかった取引先からも電話が入り、津波被害の無かった支店で営業を再開するので協力を、との話があり引き受けましたが、運よく身内の方に不幸が無く仕事上の必要に迫られたとしても、あれだけの被害を受けたのにこの短期間の間に立ち上がろうとする気力には本当に感心しました。

7 月になり被災地のお客さんも名古屋に来ていただけるようになり、現地も少し落ち着きを取り戻し海岸沿いの道路も通行で出来るようになったと聞き、仙台への直行便が再開された 8 月の 11 日から 13 日の 3 日間やっと宮城と福島両県行く事が出来ました。セントレア 7 時 50 分発で 9 時には仙台空港到着、空港内はテレビで見たあの津波の惨状を感じさせるものは何も残っておらず、前と同じ状態に戻っていました。しかしレンタカーを借り空港から出ると道路沿いの空地には、流された車や小型飛行機の残骸が何ヵ所も長い列になって積み上げられており被災の様子が伺われました。

石巻の取引先に行くため海沿いの道を避け少し内陸部の三陸自動車道を通り 1 時間ほどで目的地に到着、

早速店舗の中を案内していただきましたが、商品も豊富でレジ待ちのお客さんも多く社員の方が忙しそうに働いていました。お話では1km程近くまで津波が来たが、幸い地震による被害だけですみ、1ヵ月程かけて店内の修理や掃除を終え、4月中旬から店頭だけで商売をはじめ現在は元通りに戻ったと元気な様子で安心しました。

次は宮城県の北部にある登米市を通り気仙沼に、やはり途中から海岸線に沿って走る東浜街道に出ると道路の浜寄りと共に山側にも壊れて空洞になっている家々が見え、この道路を超え西側の高台の家々まで津波が押し寄せた様子がはっきりと残っていました。気仙沼市内に入り高台の道路から海辺の方に車で降りて行くと、家の土台の名残と空洞ビルだけが残っている中心部に入り、車を降り少し歩いてみましたが人が無く、あの空洞のビルの3階の高さまで津波が来たのかと考えると恐怖を感じました。

気仙沼から同じ海沿いの道を通り南三陸町まで南下、道路の両側倒る所に被害に遭った家々がそのままの状態で見捨てられていました。南三陸町に入ると、道が通れるよう瓦礫の山がビルの様に各所にうず高く積み、町は海辺まで見渡せるほどで瓦礫以外は何も残っていませんでした。志津川町のお客さんが戦争の後の焼け野原の様な町になってしまった言われた言葉が忘れられません。

2日目は福島県の取引先がある白河・郡山・福島市と回りお話を伺いましたが、やはり放射能汚染が心配で息子夫婦と孫達は県外に住まわせている方が多く、残った我々夫婦で状況が落ち着くまで頑張らなくては、しかし原発の問題が解決しないと町の人口が減り商売も難しくなるのではと不安げに話して見えました。

2日間とも仙台のホテルに泊まりましたが、夜の街は観光客が多いせいかガイドブックに乗っている店はどこも満員で、レトロな雰囲気横丁もあり名古屋の夜の街よりずっと活気が感じられました。次回は余裕を持った日程で宮城と福島県に行き、取引先の方と飲みながらゆっくりと今後の事を話し合い、東北の観光と温泉も楽しみたいと思っています。

(鈴木 馨三)

聖書の言葉

【私は、ギリシャ人にも未開人にも、知識のある人にも知識のないひとにも、返さなければならない負債を負っています。(ローマ人への手紙1.14)】

【帝国時代のローマ人は「人」をローマ人とギリシャ人を知識のある人、ローマ人の言語であるラテン語とギリシャ語を話せない人を知識のない人、未開人と区別した。『パウロは彼ら異邦人に福音を伝えることを、負債を返すものとして大きな重荷を感じていた。負債

を持っている者は、債権者に会えば避けたり逃げたりしがちである。しかし、彼は異邦人を避けようとはせず、積極的に異邦人を求め、それを払おうとしているのだ』(www.berith.com/shuhou/roma/115-20020512.shtml)】

【同志社大ビジネススクール教授の浜矩子は、11月6日付の中日新聞に「かつては、聖人相手の債権者だったギリシャ。」と皮肉っている。ギリシャの首相は欧州連合の支援策の是非を問うと、国民投票案を掲げて緊縮策に反対する野党を揺さぶり、協力を取り付けるとすぐ撤回する策士ぶりは見事。もし国民投票が実施され「この国にお金を貸した者が悪い」と開き直っている国民が支援策を拒否し、ユーロから離脱した場合、この国はどうなるのか。ギリシャの国内総生産(GDP)は2010年度で約25兆円(対ユーロ=107円)愛知県内総生産の7割ほど、国家予算(歳出)は2011年度で約9兆円、歳入は約6.5兆円、債務残高は約40兆円になる。この数字はEUという市場の恩恵を受けたユーロ建ての価値であり、元の通貨ドラクマに戻ればギリシャ経済の実力から一気に1/3から1/4に下落する。11月10日付の日経新聞は『イタリア国債「危険水域」首相辞意でも動揺続く ユーロ圏3位の経済大国であるイタリア財政に対する市場の不安が止まらない。』と報ずる。次はスペインかポルトガルか、かつては帝国といわれた国々が借金の重さに沈んで行く。歴史が逆転しながら徐々に世界が壊れていく気がする。】

Zoom・当たり前のことを当たり前に

今年の日本シリーズは4勝3敗のソフトバンク優勝で終わった。中日の3勝は全て2対1、レギュラーシーズンの映し鏡のようだ。21日の中日新聞社説は『何よりも短期決戦の日本シリーズは、見ている方も一戦一戦気が抜けない。一方、セ・リーグの観客動員減少に歯止めがかからない。中日は前年比2.2%の減。ヤクルトとの首位争いの最中も、ナゴヤドームに空席が目立っていた』と書いている。「一方」とは何だ、「リーグ優勝はした“が、しかし”観客が減って儲けにならない、だから新しい監督契約はなかった」。球場近くに住む友人は「テレビ観戦者は勝てばいいが、われわれは打って勝つ野球が見たい、このごろイライラして途中で帰ることがある」という。退任会見の落合監督は『継続してやろうと思ったら、基本に忠実に。だから、書く側も見る側も面白くない。私の中で、らしい野球というのは普通のことを普通にできるかどうか。当たり前のことを当たり前にやるのが、一番難しい』と。落合監督前の8年間はリーグ優勝1回、2.3位5回、Bクラス2回。就任後はリーグ優勝4回、2位3回、3位1回、大型補強をせず現有戦力を底上げしての成績。「真ん中に来た真っ直ぐを振っただけ」、選手時代の彼だったら、ヒーローインタビューでそう答えている。